

西条市都市計画 マスタープランを策定

西条市都市計画マスタープランは、おおむね20年後の西条市の姿を展望しつつ、将来の土地利用、道路・公園整備などについての基本的な方針を定めたものです。今後は都市計画マスタープランの実現に向け、市民の皆さんや企業などの理解・協力を得られるよう密接な連携体制をとり、官民協働でのまちづくりを進めていきます。

全体の構成

都市計画マスタープランは大きく分けて全体構想と地域別構想で構成しています。

全体構想では、市全体における都市づくりの目標や基本方針を定めています。

地域別構想では、地域の特性や生活面でのつながりなど幾つかのまとまりをもった生活圈を地域・地区で区分し、それらの将来像を明らかにし、都市づくりの目標・整備方針などを定めています。

地域はそれぞれの拠点を抱える、西条・東予・丹原・小松の4つの地域に区分します。

また、各地域の特性などを考慮し、西条地域はさらにその地域の中を中央部・東部・西部の3つの地区に細分するとともに、東予地域も東予東・東予西・河北の3地区に細分しました。

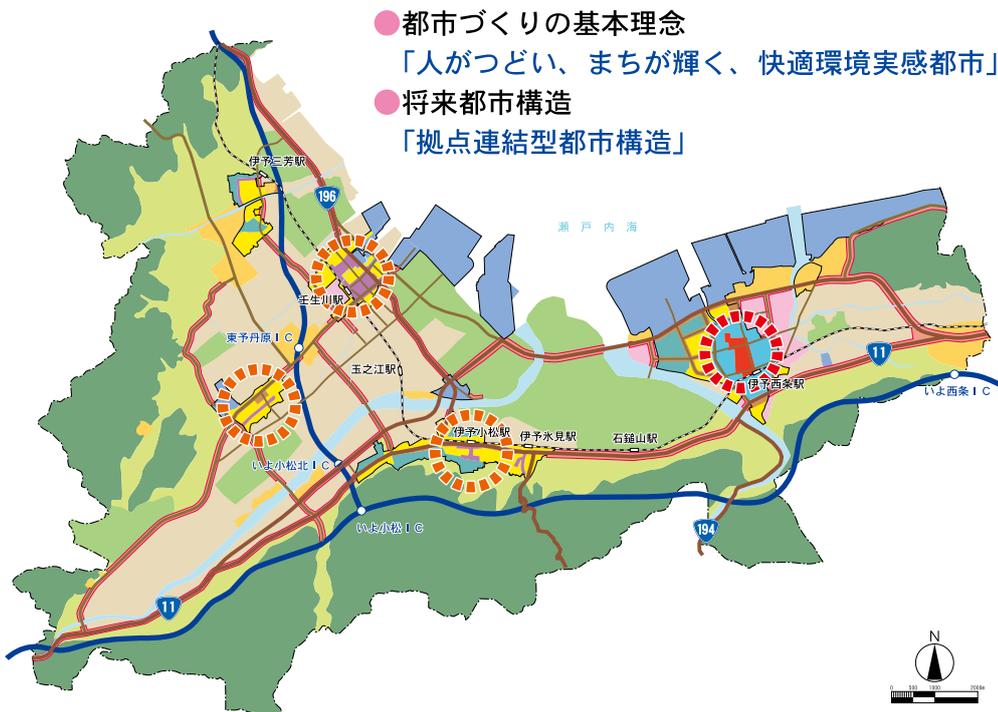
将来都市構造

西条市の望ましい都市のあり方を示す将来都市構造は、当市が約509平方キロメートルという広大な行政区域を有することや、西条・東予・丹原・小松の各地域に従来の市街地が形成されていることなどを勘案して決めました。

その結果、西条市の将来都市構造は、JR伊予西条駅周辺の中心市街地を都市拠点、東予・丹原・小松総合支所周辺の市街地を地域拠点と位置づけ、それらの拠点を公共交通機関や道路網で結び、連携強化を図った「拠点連結型都市構造」としました。



将来都市構造図



凡	例
	都市拠点
	地域拠点
	中心商業地
	地域商業地
	中心商業地周辺既成住宅地
	専用住宅地
	一般住宅地
	複合地
	工業地
	市街化誘導地（住宅地）
	産業居住地
	沿道サービス地
	自然共生地
	田園環境保全地
	山麓景観保全地
	自然環境保全地
	用途地域